# 今後10年間のまちづくりを考える
# ～市民と市政を語る会

7月17日・別府センター　22日・立神センター　23日・金山センター　28日・市民会館　29日・城山センター

「市民と市政を語る会」が、市内5会場で開催され、延べ146名の市民の方々が参加されました。

今回は、平成27年度で終了する第5次枕崎市総合振興計画に代わる第6次枕崎市総合振興計画（平成28年度～平成37年度までの10年計画）及び総合戦略を策定するに当たり、広く市民の皆さんからご意見、ご要望等を聴くために開催したものです。

会では、市役所から市長をはじめ、副市長、教育長と全課長級が出席し、計画策定の経緯や来年度から新たに策定することとなった総合戦略等を説明した後、市民の皆さんからご意見、ご要望を伺いました。

今回、会で出された主なご意見・ご要望などを報告します。

## 都市基盤関係

**質問**　市全体の市営住宅はどうしていくのか。

**回答**　市営住宅の長期的な計画については、今、398戸の市営住宅があり供用中が約300戸ある。将来的には人口の減少もあるが、改築できるところは改築し、集約できるところは集約していかなければならないと思っている。

**質問**　市道・農道の管理について、高齢化も進み、老人だけの集落になってきていることを考えると、維持管理・修繕を今後どう考えていくのか。

**回答**　市道の草払いについては、利用者が多いところを優先している。状況を把握しながら、市としても努力はしていきたい。農道の関係は、土手の草払いや側溝の土上げは、基本的に地域の受益者の方々や公民館等にお願いしている。どうしても対応できないような大きい側溝などについては、市もできる範囲で対応していきたいと考えている。

**質問**　神園川駐車場の有料化について、各公民館や通り会での話し合いで有料化が決まったと思っているが、その後、何も進んでいないのはなぜか。

**回答**　駐車場予定地のうち、港から約20～30㍍の一区画が漁港施設であり農林水産省所管となる。そこの貸し借りについて、今、県と協議を進めており、その結果がまだ出ない。協議が終了次第、有料化に向けた事業を始めたい。

**質問**　個人宅（火之神地区）のトイレについて、現在は汲み取りなのだが、水洗化されることはないのか。

**回答**　火之神地区は下水道区域から離れており、自己負担で下水道管を接続することになるが、費用がかかり過ぎることになる。下水道区域以外については、市の補助がある合併浄化槽を設置して水洗化していただきたい。その方が費用も安く済むと思っている。

**質問**　ごみ捨て場の建設予定地について、国道270号のところと聞いたが、環境アセスメント等は県に出したのか。

**回答**　内鍋清掃センターは、廃止年度を平成35年とし、その後は内鍋以外の場所に新たな広域ごみ処理施設を建設すると、地元立神地区、栗ヶ野地区の住民の皆さんと約束されているため、南薩地区衛生管理組合では、新しい広域ごみ処理施設の建設に向けての取り組みが始まった。

今年度から、各組合構成市から建設候補地を推薦し、各構成市が推薦した委員で構成する建設検討委員会で協議・審査が始まり、来年3月を目途に各市が推薦した建設候補地の中から建設地を決定する運びとなっている。現在、各構成市から6カ所の候補地が推薦されており、本市からも1カ所を推薦している。場所は、金山町の国道270号沿いの山林である。

地元の方々への説明については、衛生管理組合の事務局から、新しい広域ごみ処理施設の候補地検討委員会の協議が始まるまで、地元の自治会長さんへの説明までに留めておくようにとの指示があった。建設地が決定されたら、まず一番最初に地元住民への説明会から始め、地元の方々に十分理解してもらい、地元住民の同意がなされてから、地質調査、環境調査、環境アセスメントを行い、建設に入っていく。

▲7月17日、別府センター

**要望**　総合戦略の中に小さな拠点としてコンパクトシティがあり、コンパクトシティも大事だと思うが、立神地区を含む農村部にはいろんな文化や学習できる場所などがある。農村部の良さを生かして、町から田舎のほうに出かけるというのはどうか。

## 産業経済関係

**質問**　入会林野事業の進捗状況はどうなっているのか。

**回答**　入会林野事業は、今、桜山地区が終わっている。事業の進捗が遅かったので、今年の4月からは県から権限移譲を受け、市が業務を行うことにした。組合設立の順番では別府地区が先行しており件数も多いため、今年中には別府地区を終わらせたい。そして来年、金山地区と立神地区を終わらせたい。

**質問**　市内の巡回バスについて、一向に音沙汰がないが、なぜ、枕崎だけができないのか。できるとしたらいつなのか。

**回答**　巡回バスの取り組みについては、地域の老人クラブ、公民館、交通事業者関係の方々に集まってもらい試案を提示し検討したが、交通事業者から事業に影響が出るとの心配があった。

また、コミュニティバスは、交通事業者等の免許を持っている皆さんの同意がないと、陸運局からの許可が得られないため協議が止まっている状況だが、新しい方法で皆さんが同意できる案を研究している。

**要望**　遊休農地の活用について、薬用作物やお年寄りにもできる作物など、新たな特産物に取り組んでもらいたい。

**要望**　新規農作物の提案をしたいと言ったが、そういう話が、全然、市役所に浸透していない。そういうフットワークを軽くするような体制を取ってもらいたい。

▲7月22日、立神センター

**要望**　街中を歩いていて、空き地・空き家・売り地が多いことを危惧している。空き家対策を起爆剤として、活性化の一つの案として今後進めてほしい。

**要望**　街並みにオブジェがあるが歩いて見る人はそんなにいないのではないか。車で眺めても、素通りするだけであまり見ないようである。箱根の彫刻の森美術館のように、オブジェを集めて観光地の目玉として、そういう一つの観光地になるようにしてはどうか。

## 健康福祉関係

**質問**　独居老人が増えているが、対策はどう考えているのか。

**回答**　独居老人の安否確認や見守りについては、在宅福祉アドバイザーや民生委員と連携しながら安否確認を行っている。さらに、給食の宅配サービス利用者については、宅配の際に安否確認まで含めて社会福祉協議会に委託しているが、独居老人の方々の安否確認の方策についてはいろいろ検討していきたい。

## 教育文化関係

**質問**　金山小学校の跡地利用について、小学校をブロックごとに、福祉や教育に分けるとの話を聞いたが、もっと校舎を生かしていけないか。

**回答**　金山小学校の跡地の利活用計画は、市役所内でいろいろ検討したが一本化するのは難しい面があったため、利活用の応募のあった複数の事業所やNPO団体による学校跡地運営管理組合といったものを設立し、運営をしてもらったらどうかと考えて、現在、協議を進めている。具体的には、13の教室をそれぞれで分けて事務所や倉庫、福祉関係、教育関係のいろいろなイベント事業に利用してもらおうと考えている。この学校跡地運営管理組合については、今後、参加を希望する事業所やNPO法人、地域住民の代表者の方や行政を交えて詰めていきたい。

**意見**　グラウンドゴルフについて、今、協会の仲間が600人程度であり塩浜グラウンドは雨の日の朝の排水などコンディションが悪いため、水尻公園や既存の公園を整備して、グラウンドゴルフ場を整備していただきたい。

**意見**　地域交流の事業を進めていかなければならないと思う。中高生の修学旅行など受け入れ家庭を増やしていきたいと思うので、いろいろな交流事業を行ってほしい。

**意見**　国体の関係で枕崎ではなぎなたの大会があるが、会場の体育館について修理を含めて最善の努力をしていただきたい。

## 行財政関係

**質問**　防災無線のデジタル化について、将来的に検討しているという話を聞くが、いつ頃を目途に検討しているのか。

**回答**　防災無線のデジタル化については、来年度から基本設計を行う形で検討している。

**質問**　枕崎市の活性化をするためには、働く場所がなくてはならないが、若者はよそへ行き限界集落となってしまう。これを打破するためのいい知恵を考えてほしい。

**回答**　若者が定着し、地元で働くことが一番大事だと思うが、すぐにどういうものが定着できるのか具体的になると、なかなか難しい問題がある。そこでみんなで一緒になって考えていきたいと思っている。

■**問合せ**　企画調整課企画調整係　TEL72-1111（内線225・226）